

第37回中央委員会を開催



吉永副委員長



辻村委員長



JR連合相良組織部長

2月10日、大阪市内において開催し、2024春闘を含む当面の活動方針を満場一致で採択しました。

開会にあたり、2024年1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々へご冥福をお祈りするため黙祷を捧げ、委員会を代表して挨拶に立った辻村委員長は「千早操車場での触車死亡事故から6年が経ち、福知山脱線事故からは19年が経とうとし、直近ではJR東日本で感電労災が起きた。私達の身近で起きていることを認識して頂き、改めて安全について見つめ直して欲しい」と2024春闘・組織、政策課題にも触れながら安全意識について強く述べられ、来賓のJR連合相良局長からは「2024春闘では、人件費はコストではなく人財への投資であることを会社に強く訴え取り組んで頂きたい」と組織関係等も交えながら、2024春闘を中心に力強く述べられました。

質疑応答では、2024春闘・安全・組織・政策・定年雇用・会社情勢等について多くの発言があり、橋爪書記長が集約答弁し、最後に辻村委員長による「団結ガンバロー」で会を終えました。

コロナが収束しても、JR貨物グループの経営状況は依然として大変厳しい状況にあります。他の企業においては賃上げの波が過去最高水準に達しており、この波に乗り遅れば優秀な人財の確保が難しくなり、JR貨物グループの持続的な発展に支障をきたします。離職防止・人財定着の為にも、2024春闘では「人財への投資」を強く訴え「ONE TEAM」で組合員の生活改善をめざしていきます。各地区本部におかれましては、2024春闘勝利に向けて、取り組み強化を宜しくお願い致します。

※2024春闘方針については、業務速報を参照願います。